柔　　道

（種目担当校：鹿児島大学・鹿屋体育大学）

１　期　　日　令和6年11月24日（日）

２　開催時間　開場　　午前８時３０分
　　審判・監督会議　午前９時３０分
　　試合開始　　午前１０時００分
　　試合終了予定　午後１５時３０分

３　会　　場　鹿屋市武道館（鹿児島県鹿屋市向江町29番1号/TEL：0994-41-9988）

４　競技規則

（１）チーム編成

①　各大学１チームとし、登録選手は１２名以内、このうち７名をもって試合を行う。

②　九体協加盟校である２以上の大学が統合した場合、統合後も同一大学から別々の団体として出場できるものとする。

（２）試合方法

①　各チーム7点の点取りトーナメント戦で行い、各試合の選手配列は自由とする。

②　前回大会ベスト４をシード校とする。

③　試合時間は４分間とする。

（３）審判規定

①　（公財）全日本柔道連盟の定める国際柔道連盟試合審判規定を準用する。

②　判定基準は、「技あり」以上、または「反則負け」とする。

③　試合時間は男子4分間とする。

④　勝敗の決定は、勝者の多い方を勝ちとする。また、勝者同数の場合は、内容差で決定する。

⑤　前述の全てにおいて同一の場合は、次のとおりとする。
　各大学1名の代表選手を選出し、4分間の代表戦を行う。
　4分間で勝敗が決しない場合は、ゴールデンスコアにより勝敗を決する。

（４）柔　道　衣

（公財）全日本柔道連盟柔道衣規定に合格した柔道衣（白色）を着用する。

（５）紅　白　帯

紅白帯は出場する人数分を各大学が準備する。

５　表　　彰　第３位までとする。（３位決定戦を実施する）

６　組　合　せ　競技担当校が責任をもって行う。

7　選 手 変 更

申込後、変更が生じた場合は試合当日の午前８時４５分から９時１５分までに、所定の「選手変更届」を大会事務局へ届けること。その際、選手変更は２名を限度とする。

8　そ　の　他

（１）脳震盪の対応について

① 大会前１ヵ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。

② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
（なお、至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること。）

③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

④ 当該選手の指導者は、大会事務局に対し、書面により事故報告書を提出すること。

（２）皮膚真菌症について

皮膚真菌症（トンズランス感染症）については，発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。

（３）貴重品・荷物はチームで責任を持って管理し、ゴミは持ち帰ること。